

区分	No	Q 番号	質問項目	選択肢	R5	R6	R7	R8	課
(1)企業名等情報	1	—	創業年	西暦〇〇〇〇年	—	○	○	○	中小企業支援課
(1)企業名等情報	2	—	代表者の年齢（1つに○印）	1. 30歳未満 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳代 7. 80歳以上	○	○	○	○	中小企業支援課
(1)企業名等情報	3	—	全従業員数（個人事業主、会社役員、家族従業員除く） パート・アルバイトは8時間で1人に換算（1つに○印）	1. 5人以下 2. 5人超～20人以下 3. 20人超～50人以下 4. 50人超～100人以下 5. 100人超～300人以下 6. 300人超	○	○	○	○	中小企業支援課
(1)企業名等情報	4	—	全従業員の平均年齢（1つに○印）	1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳以上	—	○	○	○	中小企業支援課
(1)企業名等情報	5	—	主たる事業所の所在地（1つに○印）	1. 横浜市 2. 川崎市 3. 横須賀三浦地域（横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町） 4. 県央地域（相模原市、厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村） 5. 湘南地域（平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町） 6. 県西地域（小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町）	—	○	○	○	中小企業支援課
(2)フェイス項目	6	F 1	貴社の営まれている業種のうち、売上高の最も高い業種についてお聞きします。（1つに○印）	1. 建設業 2. 製造業 3. 運輸・郵便業 4. 卸売業 5. 小売業 6. 飲食サービス業 7. 宿泊業 8. 生活関連サービス業 9. その他サービス業 10. 医療・福祉 11. 情報通信業 12. その他（ ）	○	○	○	○	中小企業支援課
(2)フェイス項目	7	F 2	売上高の最も高い顧客の属性についてお聞きします。（1つに○印）	1. 事業者向けが多い（BtoB） 2. 消費者向けが多い（BtoC） 3. 両者同程度 4. その他（ ）	—	○	○	○	中小企業支援課
(2)フェイス項目	8	F 3	貴社の売上高についてお聞きします。（直近期の決算数字）（1つに○印）	1. 3,000万円未満 2. 3,000万円以上～5,000万円未満 3. 5,000万円以上～1億円未満 4. 1億円以上～5億円未満 5. 5億円以上～20億円未満 6. 20億円以上	○	○	○	○	中小企業支援課
(2)フェイス項目	9	F 4	貴社の前期、前々期の経常利益についてお聞きします。（1つに○印）	1. 二期連続黒字 2. 直近期末が黒字 3. その他（ ）	○	○	○	○	中小企業支援課
(3)経営課題	10	Q1	現在、重視している経営課題について、お聞かせください。（5つまで○印）	1. 業種・業態の転換 2. 仕入先の開拓 3. 仕入価格・原材料費の上昇に対する価格転嫁 4. 販路開拓・販売促進への対策 5. 製品開発など新事業展開への取組 6. 製造工程・サービス提供工程の効率化・省力化 7. IT化・DXへの対応 8. 機械設備等の老朽化・更新、設備投資への対応 9. 最低賃金・人件費上昇への対応 10. 人材の確保・採用・育成 11. 後継者の確保による事業承継対策 12. 資金繰りや資金調達 13. 借入資金の返済 14. 海外展開や外国人顧客への対応 15. 競争商品や他社との差別化戦略 16. 脱炭素化への対応 17. 災害時等の危機管理体制の構築 18. サイバーセキュリティ対策 19. キャッシュレス化への対応 20. その他（ ）	○	○	○	○	中小企業支援課
(3)経営課題	11	Q2	経営課題に取り組むにあたり、ネックとなっていることをお聞かせください。（3つまで○印）	1. 専門能力を持った人材が不足している 2. 社内で問題意識が共有されていない 3. 対応するための設備類が不足している 4. 相談したいが相談先が分からない 5. 日常業務に追われ、時間的な余裕がない 6. 社内組織体制の整備が不十分 7. 対外的信用力が不足している 8. 国内市場の衰退 9. その他（ ）	○	○	○	○	中小企業支援課
(3)経営課題	12	Q3	貴社の経営課題はどこに相談していますか。相談先についてお聞かせください。（すべてに○印）	1. 税理士・公認会計士 2. 士業（税理士・公認会計士以外）、 3. 民間コンサルタント 4. 金融機関 5. 同業種の経営仲間（取引先除く） 6. 異業種の経営陣仲間（取引先除く） 7. 取引先（仕入先・販売先） 8. 親会社・グループ会社 9. 商工会・商工会議所 10. 神奈川産業振興センター 11. その他公的支援機関 12. 行政機関 13. 親族・知人 14. 相談先はない 15. その他（ ）	○	○	○	○	中小企業支援課

区分	No	Q番号	質問項目	選択肢	R5	R6	R7	R8	課
(3)経営課題	13	Q4	これまでに利用したことがある公的機関の支援施策についてお聞かせください。(すべてに○印)	1. 利用したことがない 2. 経営相談 3. 技術相談・支援 4. 経営革新・経営力向上等の計画作成 5. 融資 6. 助成金・補助金・給付金 7. 協力金 8. 税制優遇 9. 研修・セミナー 10. 商談会・展示会等 11. 専門家派遣 12. その他()	○	○	○	○	金融課
(3)経営課題	14	Q5	販路開拓に向けての取り組みで効果を感じるもの、今後取り組みたいものをお聞かせください。(すべてに○印)	1. 経営者によるトップセールス 2. 訪問営業の実施 3. 自社ホームページによる製品・技術・実績等のPR 4. ブログ、SNSによる情報発信 5. 業界紙、専門誌等への広告、記事掲載 6. インターネット販売や電子商取引の導入 7. ビジネスマッチングサイトの活用 8. 展示会・商談会への参加 9. 自社セミナー、見学会等の開催 10. 取引先・同業者、金融機関等からの紹介 11. 公的機関等からの認定 12. 商工団体からの紹介 13. 特になし 14. その他()	—	○	○	○	中小企業支援課
(4)市場の変化への対応	15	Q6	米国関税措置の影響についてお聞かせください。(1つに○印)	1. 現時点で深刻な影響を受けている 2. 現時点で影響を受けている 3. 今後影響が出る可能性がある 4. 今後も影響は想定されない 5. わからない	—	—	○	落ち	金融課
(4)市場の変化への対応	16	Q7	日産自動車の生産縮小に伴う影響についてお聞かせください。(1つに○印)	1. 現時点で深刻な影響を受けている 2. 現時点で影響を受けている 3. 今後影響が出る可能性がある 4. 今後も影響は想定されない 5. わからない	—	—	○	落ち	中小企業支援課
(4)市場の変化への対応	17	Q8	円安や原材料、エネルギー費等の物価高騰に伴う財務上の課題をお聞かせください。(すべてに○印)	1. 前期比で売上が低迷した 2. 発注側企業との適切な価格交渉や価格転嫁ができず、苦労した 3. 仕入価格等が上昇し、利益が圧迫された 4. 燃料費等の高騰により、利益が圧迫された 5. 賃上げにより、人件費が上昇した 6. 資金繰りに苦労した 8. 債務残高が増加した 8. 影響はなかった 9. 特需があった 10. その他()	—	○	○	○	金融課
(4)市場の変化への対応	18	Q9	原材料、エネルギー費の増加について、どの程度価格転嫁できているかお聞かせください。(1つに○印)	1. 十分に転嫁できている(9~10割程度) 2. ほぼ価格転嫁できている(7~8割程度) 3. おおむね価格転嫁できている(4~6割程度) 4. 多少なりとも転嫁できている(1~3割程度) 5. 全く価格転嫁できていない 6. 原材料・エネルギー費が増加していない 7. そもそも原材料、エネルギー費の増加を把握できていない	—	○	○	○	中小企業支援課
(4)市場の変化への対応	19	Q10	労務費の増加についてどの程度、価格転嫁できているかお聞かせください。(1つに○印)	1. 十分に転嫁できている(9~10割程度) 2. ほぼ価格転嫁できている(7~8割程度) 3. おおむね価格転嫁できている(4~6割程度) 4. 多少なりとも転嫁できている(1~3割程度) 5. 全く価格転嫁できていない 6. 労務費が増加していない 7. そもそも労務費の増加を把握できていない	—	○	○	○	中小企業支援課
(4)市場の変化への対応	20	Q11	過去1年間の賃上げの実施状況についてお聞かせください。(1つに○印)	1. 業績が好調・改善しているため賃上げを実施した 2. 業績の改善が見られないが賃上げを実施した 3. 賃上げは実施していない	—	○	○	○	中小企業支援課
(4)市場の変化への対応	21	Q12	顧客の中に、インバウンド(外国人観光客)がいるかお聞かせください。(1つに○印)	1. インバウンドの顧客が多い 2. インバウンドの顧客はほどほどいる 3. インバウンドの顧客は少ないがいる 4. インバウンドの顧客はいない	—	○	○	落ち	中小企業支援課
(4)市場の変化への対応	22	Q13	ロボット・ICT機器やツール等(以下「ロボット等」という)の普及・実用化に伴う市場変化への対応等についてお聞かせください。(すべてに○印)	1. 既にロボット等を導入・活用している 2. ロボット等の導入・活用を検討している 3. 既にロボット産業(ロボット等の製造・開発・保守等)に参入している 4. ロボット産業(ロボット等の製造・開発・保守等)に参入を検討している 5. いずれも検討していない 6. その他()	—	○	○	○	産業振興課
(4)市場の変化への対応	23	Q14	市場の変化への対応等について、苦勞している点や取組の成果を参考事例としてお聞かせください。	自由記述	○	○	○	○	中小企業支援課
(5)特定課題への対応	24	Q15	SDGsへの取組状況をお聞かせください(1つに○印)	1. 取り組んでいる 2. 取り組んでいない ※取組例：節電や節水、ごみの分別・削減、ペーパーレス化、リサイクル、緑化、自然災害への備え、子育て支援・介護支援、高齢者・障がい者雇用、ワークライフ・バランス、地域活動やボランティアへの参加 など	○	○	○	○	中小企業支援課
(5)特定課題への対応	25	Q16	自らの事業活動の脱炭素化(※)に関する取組状況などをお聞かせください。(1つに○印)	1. 既に脱炭素化を実現した 2. 脱炭素化に向けて取組を進めている 3. 脱炭素化の必要性は感じているが、まだ具体的に取り組んでいない 4. 脱炭素化の必要性は感じておらず、今後、脱炭素化に取り組む予定・必要はない 5. その他() ※自らの事業活動における脱炭素化とは、CO2をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることです。	○	○	○	○	脱炭素戦略本部室

区分	No	Q番号	質問項目	選択肢	R5	R6	R7	R8	課
(5)特定課題への対応	26	Q17	自らの事業活動の脱炭素化を進める上での課題などをお聞かせください。(3つまで○印)	1. 知識やノウハウが不足している 2. 業務負荷の増加が懸念され、対応する時間的・人的な余裕がない 3. 設備投資等に必要な資金が不足している 4. 設備投資等を実施しても投資回収が見込めない 5. CO2削減のための技術が確立されていない工程や設備が多い 6. 社内の合意形成や協力・理解が得られない 7. 特になし 8. 分からない 9. その他()	○	○	○	○	脱炭素戦略本部室
(5)特定課題への対応	27	Q18	自らの事業活動の脱炭素化に取り組む上で必要な支援などをお聞かせください。(3つまで○印)	1. 脱炭素に関する講演会や相談会の開催・講師の派遣 2. 相談窓口の設置・案内 3. 同業他社の効果的な対策例の紹介 4. CO2排出量の算定・把握に関する支援 5. 省エネ診断費用の補助 6. 省エネ設備・太陽光パネルなどの設置費用の補助 7. 脱炭素に関する金融面の支援 8. CO2削減に向けた計画策定支援 9. 意欲的な事業者としての表彰・認証 10. 特になし 11. 分からない 12. その他()	—	○	○	○	脱炭素戦略本部室
(5)特定課題への対応	28	Q19	D X推進のため、貴社で既に 行っている又は行う予定の取 組についてお聞かせくださ い。(すべてに○印)	1. 組織再編 2. デジタル活用の視点からの業務プロセスの見直し 3. ワークフローや在庫管理等、 会計等 のデジタル化 4. We b広告やオンラインプラットフォームによる販売路線の多角化 5. 定型業務の自動化(R P A) 6. 業務におけるオンラインの活用 7. ペーパーレス化 8. ハンコの撤廃・電子契約の導入、 9. 業務システムのクラウド化 10. AIの活用 11. 取り組む予定はない 12. その他()	○	○	○	○	中小企業支援課
(5)特定課題への対応	29	Q20	(Q28で@と回答した方) 現在、AI活用方法についてす でに行っているもの又は行う 予定のものについてお聞かせ ください(複数選択可)	1. 作業の自動化(書類作成、画像等の生成) 2. データ分析、最適化(例: 売上予測、顧客分析、マーケティング) 3. 顧客対応(例: チャットボット、FAQ対応) 4. 画像認識(例: 製品検査、セキュリティ) 5. 音声認識(例: 文字起こし、音声入力、通話内容の分析) 6. 新規事業開発(例: 新サービスの構築) 7. 困りごとの相談 8. 具体的に決まっていないが活用していきたい 9. その他()	—	—	—	○	中小企業支援課
(5)特定課題への対応	30	Q21	AIの活用や導入について、ど のような課題を感じています か(複数選択可)	1. 導入方法、活用方法が分からない 2. 導入・運用コストが高い 3. 社内の技術的な人材や知識が不足している 4. 社内の理解が進まない 5. 既存業務やシステムとの連携 6. 社内ルールや運用体制が未整備 7. 導入後の運用やメンテナンスが難しい 8. 効果測定の方法が分からない 9. 情報漏洩やセキュリティ、法規制、倫理的な懸念がある 10. その他()	—	—	—	○	中小企業支援課
(6)人材育成・確保	31	Q22	従業員の人材育成や能力開発 に関する課題についてお聞か せください。(すべてに○ 印)	1. 指導者がいない 2. 研修費用が高い 3. 時間が足りない 4. 人材育成を進めたいが方法や相談先がわからない 5. 教育機関や支援機関などと連携したいがやり方がわからない 6. 技術革新や業務変更が頻繁で対応できない 7. 特になし 8. その他()	○	○	○	○	産業人材課
(6)人材育成・確保	32	Q23	従業員等のリスクリリング推進 のために必要な支援について お聞かせください。(すべて に○印)	1. 従業員のリスキリングを進めるための経営者向け相談窓口 2. 経営層・管理者層向けのリスクリリング啓発セミナーの開催 3. 従業員が受講できるリスクリリング講座等の提供 4. リスキリングを進めるための助成金 5. 他機関との連携 6. その他()	○	○	○	—	産業人材課
(6)人材育成・確保	33	Q24	人材の確保に関する充足感に ついてお聞かせください。 (1つに○印)	1. 十分に確保できている 2. おおむね確保できている 3. あまりできていない 4. まったくできていない 5. その他()	○	○	○	○	雇用労政課
(6)人材育成・確保	34	Q25	人材の確保のために、主に実 施されていることについてお 聞かせください。(3つまで ○印)	1. 就職ポータルサイトの利用 2. 紙媒体の求人広告の利用 3. 民間人材紹介会社の利用 4. ハローワークの利用 5. 副業・兼業人材の受け入れ 6. 外国人材の受け入れ 7. インターンシップの実施 8. 身内や知人等からの紹介 9. 自社ホームページでの募集 10. その他()	○	○	○	○	雇用労政課
(6)人材育成・確保	35	Q26	人材の雇用・採用にあたって の課題をお聞かせください。 (3つまで○印)	1. 適した人材を確保するための手段やノウハウの不足 2. 採用にあたっての諸経費(手数料や広告費等)が負担となっている 3. 求職者(応募者の数)がなかなか集まらない 4. 求める質の人材がなかなかいない 5. 採用後の定着率が低い 6. 特になし 7. その他()	○	○	○	○	雇用労政課
(6)人材育成・確保	36	Q27	人材の確保にあたって、どん な人材を求めているかをお聞 かせください。(すべてに○ 印)	1. 新卒(若手) 2. 中途採用 3. 女性 4. シニア 5. 外国人材(専門的・技術的分野) 6. 外国人材(技能実習・特定技能) 7. 障がい者 8. その他()	—	○	○	○	雇用労政課

区分	No	Q番号	質問項目	選択肢	R5	R6	R7	R8	課
(6)人材育成・確保	37	Q28	直近一年間で受け入れた外国人労働者はいますか。(1つに○印)	1. いる 2. いない	—	○	○	○	雇用労政課
(6)人材育成・確保	38	Q29	人材確保について苦労している点や、取組の成果を参考事例としてお聞かせください。(自由記述)	自由記述	○	○	○	○	雇用労政課
(7)事業継続	39	Q30	事業継続計画の策定状況についてお聞かせください。(1つに○印)	1. 策定していないし、必要性も感じていない 2. 策定していないが、必要性は感じている 3. 策定したが、メンテナンスを行っていない 4. 策定し、訓練等を行っている 5. そもそも事業継続計画が何であるか分からない	○	○	○	○	中小企業支援課
(7)事業継続	40	Q31	事業継続計画を策定した方、されていない方、いずれも、策定にあたっての課題をお聞かせください。(すべてに○印)	1. 人員の確保(策定するための人員の確保) 2. 資金の調達(専門家に相談する等の費用の捻出) 3. 時間の確保(作成するための時間の確保) 4. 親会社や取引先の協力 5. 情報の不足(策定の仕方がわからない) 6. 特に課題はない 7. その他()	○	○	○	○	中小企業支援課
(7)事業継続	41	Q32	(Q28で1・2・5と回答した方)事業中断リスクの備えとして実施しているものを教えてください。(すべてに○印)	1. 対応マニュアルや携行資料の作成 2. 集合研修・会議の開催 3. eラーニング教育の実施 4. 訓練の実施 5. セミナーの受講 6. 本社機能・営業所の代替施設の準備 7. 備蓄品の購入・買い増し 8. 安全確認用の電子システムの導入 9. 災害対応責任者の決定 10. 従業員の安否確認手段の整備 11. 業務データのバックアップ 12. 事業所の安全性確保 13. 感染症の流行等により従業員が出勤できない場合の体制整備 14. 感染症の流行状況等に応じた段階的な対策の整理 15. 特にない 16. その他()	○	○	○	○	中小企業支援課
(7)事業継続	42	Q33	事業継続計画(BCP)の取組を進める上で重要だと思う点等についてご意見をお聞かせください。(自由記述)	自由記入	○	○	○	○	中小企業支援課
(7)事業継続	43	Q34	事業承継の取組状況についてお聞かせください。(1つに○印)	1. 取組中である(検討中を含む) 2. 課題と感じているが、取り組んでいない 3. 今の事業が自分の代限りとなると感じている 4. 現在の事業を継続するつもりはない(廃業予定を含む) 5. 当面は必要ない 6. 既に事業承継が済んでいる 7. その他()	○	○	○	○	中小企業支援課
(8)事業承継	44	Q35	(Q32で1と回答された方)取組の進捗状況をお聞かせください。(1つに○印)	1. 後継者候補がいないので、これから探して事業を継続したい 2. 後継者候補はいるが、正式に決定していない 3. 後継者は確定しているが、具体的な取組はこれからである 4. 後継者が確定し、取組中である 5. 第三者への譲渡を検討している 6. その他()	○	○	○	○	中小企業支援課
(8)事業承継	45	Q36	(Q32で2・3・4と回答された方)理由をお聞かせください。(1つに○印)	1. 親族又は親族以外の役員・従業員から後継者を見つけようとしたが、適した者が見つからなかったため 2. 後継者候補に事業を継ぐ意志がないため 3. 事業をとりまく環境が厳しく、これ以上の事業継続が難しいため 4. 技術やノウハウを伝承することが難しいため 5. 事業譲渡(M&Aなど)を検討したが、適した相手方が見つからなかったため 6. 事業の承継対策のためには手間と経費がかかるため 7. 事業の継続問題について適当な相談先が見つからなかったため 8. その他()	○	○	○	○	中小企業支援課
(9)全体的な事項	46	Q37	行政による支援についてご要望等をお聞かせください。(自由記述)	自由記載	○	○	○	○	中小企業支援課
合計					28	42	44	42	